

第62回神奈川県合唱祭報告

会場：神奈川県立音楽堂（木のホール）

出演日時：2019年6月08日（土）

演奏曲：中勸助の詩から「かもめ」、Messe no.5 inC から「Benedictus」「Agnus Dei」

出演者：20名

指揮：鷹巢 誠一

ピアノ：櫻井 由理

トップテナー：三枝（康）、舟橋、田中（秀）、田辺、生方

セカンドテナー：飯田、田中（利）、菅原、岡本

バリトン：小池、蒲谷、高橋、福井、岡田、松村

ベース：宮野、柿崎、志澤、伊東、相原

講評者の先生方から講評を頂きました。先生方の経歴などは第62回神奈川県合唱祭のプログラムをご覧ください。

講評者	講	評
上杉 清仁 先生	「かもめ」 テノールソロすてき。ただ、もう少し声のあたりが前上の方がより声 が広がります。ソロ以外の歌唱、もう少ししっかり支えたい。 「Benedictus」 バスの声の鳴りをもう少し頂けるとハーモニーが安定しますね。 「Agnus Dei」 主メロディー、もう少し朗々と聞きたい!! miserere…の重なってくる 表現をもう少し積極的に!!まだまだ、もっともっと声でそうですよ!!	
森田 花央里 先生	男たちの人生と曲との相性が物語に奥行きを与えている感じで、男の 哀愁が漂っています。タダタケは、男の哀愁がぴったりでした。 グノーは、男の哀愁でない部分が必要かと思います。日本の昭和グノー … しっかり声が届いて、ハーモニーも美しい瞬間がたくさんあ りました。	
黒川 和伸 先生	ソロ bravo!!! オーソドックスなグリーサウンドが美しいですね! グノーのハーモニーは特にオクターブと完全5度をチェックしてみ てください! ていねいな音楽づくりに好感を持ちました!	

出場団体の皆様からもコメントを頂きました。

団体名	メッセージ
ヌオーヴァ 女声合唱団 様	「かもめ」 ソロが素晴らしい声で会場に良く響いて素敵でした。バックの男声のハーモニーもハモって良かったです。 「宗教曲」 男声コーラスらしい力強い歯切れのよい2曲でした。
県立湘南台高校 合唱部 様	低音の厳かな雰囲気の中に少し高いソロパートによってカモメが高い空を羽ばたいているような清々しさを感じました。 私たちもミサ曲を演奏させて頂きましたがジャズミサとはまた違った神聖さがあり素晴らしい歌声でした。制服のような衣装お似合いでした。